

デニー知事、首相に「建議書」

辺野古新基地断念を要請



岸田文雄首相との会談後に会見に応じる
玉城デニー知事=10日、東京都千代田区

沖縄県の玉城デニー知事に進んだ」と述べ、政府とは10日、眞面目で岸田文雄首相と会談し、同県名護市辺野古の新基地建設の断念を求める。日米地位協定の抜本改定などを求めた「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を手渡しました。

会談でデニー知事は辺野古新基地建設について「ぜひ対話の機会を設けていたが、相手は「政府として建議書はしっかりと生き続けている。復帰50年をもう返り、建議書を未来にどうつなげていくべきだ」と要請。岸田首相は「政府として建議書はしっかりと受け止めた」と強調しました。

デニー知事は同日、衆参両院議長やジョン・ナイキ大使。(建議書に関する)検討について確認できる段階が共有了した「沖縄を平和のも建議書を手渡しました。

また、1971年に琉球政府の屋良朝苗主席が日本政府へ提出した「基地のない平和な島」を求めた「復帰措置に関する建議書」に触れ、「建議書でまとめた思いは、歴代県知事は誰も否定しておらず、建議書はずっと生き続けている。復帰50年をもう返り、建議書を未来にどうつなげていくかを確認する必要がある」と強調しました。